

調査団報告書

調査No.87

調査内容

うちの近くには「^{みょうおんどおり}妙音通」という変わった地名があります。この地名の由来について詳しく知りたいです。

調査手順

『なごやの町名』によると藤原師長^{ふじわらのもろなが}という人の法名「妙音院」からとったそうです。藤原師長についてもう少し調べてみましょう。『国史大辞典』に略歴が記載されているほか、『名古屋地名ものがたり』には詳しい説明が載っています。

調査結果

「妙音通」は平安時代後期の公卿、藤原師長^{みょうおんいん}の法名「妙音院」からとったようです。藤原師長は^{しょう}笙や琵琶の名手で、^{たじょうだいじん}太政大臣にまで至った方でしたが、平清盛により都を追われ、尾張国井戸田（現在の名古屋市瑞穂区）に配流されてきました。そのため瑞穂区には師長にちなむ^{たつきよ}謫居跡などの史跡や師長町などの地名があります。帰京の際には師長を慕う井戸田の横江氏の娘との悲恋伝説があり、名古屋市西区にはこの伝説にちなむ^{びわじま}枇杷島などの地名があります。

師長に関係する場所は名古屋市内にたくさんありますので、実際に歩いてみてはいかがでしょうか。

今回の調査で使った資料

『なごやの町名』 名古屋市計画局／[編] 名古屋市計画局 1992

『国史大辞典 12』 吉川弘文館 1991

『名古屋地名ものがたり』 杉野尚夫／著 風媒社 2017

